

## 令和7年度第2回学校運営協議会 議事録

**1 日 時** 令和7年10月3日（金）午前10時00分から12時00分まで

**2 会 場** 浜松商業高等学校 応接室、体育館

**3 出席者** （委員）佐原 司郎 氏、松山 佳典 氏、鈴木 和之 氏、渡瀬 吉朗 氏、倉本 哲男 氏、  
(学校) 井口 裕史 校長、袴田 康行 副校長、米本 敦 教頭、後藤 一弘 事務長、

### 4 協議内容【発言要旨】< >は発言者

(1) 最近の本校状況 <井口校長>

- ・ 学校案内表紙デザインを一新
- ・ 水泳部の活躍
- ・ 池町まつりで吹奏楽部が地域との交流
- ・ 中学生一日体験、オープンスクール、公立高校合同フェアに多くの中学生が来場

(2) 校内視察

浜商祭開会式を視察

### 5 委員からの意見等

各委員から感想、意見等を求め以下のとおり発言があった。

<委員>

- ・ テーマの「桜梅挑李」は、本来の「桃」の文字を「挑戦」の「挑」にもじったアイデアが生徒から出てきたというところが素晴らしい。
- ・ 生徒主体で企画された全ての演目は自由で楽しいものであった。
- ・ 発表を聞く生徒の態度姿勢が素晴らしい感じた。

<委員>

- ・ これまで浜商のイメージは、集団で統制されているイメージであったが、今回の文化祭で「他人と自分を比べることなく、個性を磨こうという」という意味の「桜梅挑李」というテーマが掲げられ、浜商に「みんな違ってみんないい、個性を大切にしよう。」という新しい息吹を感じた。
- ・ 3年生の大合唱は、男女のハーモニーが美しく感動した。
- ・ 外語部の発表は、教員を巻き込んだ楽しい発表で、生徒と教員の良好な関係がうかがえた。
- ・ 珠算部のフラッシュ暗算の実演には、いつもながら驚かされる。
- ・ いずれの発表も「動画制作」能力の高さに驚かされた。今の高校生は皆このような技能を生活の中で獲得しているのか、浜商生だから何か日頃の練習があつての成果なのか。

#### <委員>

- ・ テーマ「桜梅挑李」のとおり、生徒たちが自由に伸び伸び活動できていて素晴らしいと感じた。
- ・ 3年生の合唱は素晴らしいと感じた。一般公開してもよいと感じた。
- ・ 展示紹介のプレゼン動画は工夫されていて楽しい内容であった。
- ・ 生徒たちが自主的に運営している姿が素晴らしい。
- ・ まずは自分達が楽しむ姿勢はある。その上で、来場者をどう楽しませるかの工夫が見られた。生徒指導課教員から生徒たちに指導、アドバイスがあった「お客様を意識する。お金をいただく意味」等を考えた行動ができたら、より素晴らしいものができると感じた。

#### <委員>

- ・ 3年生の合唱発表は生徒の本気度を感じられた。
- ・ 外語部の動画は、インタビューが教員の英語力チャレンジ動画になっていて、アイデアが面白かった。
- ・ HR展、部展の動画では、今の高校生はこんなに高度な編集ができるのかと驚かされた。

#### <委員>

- ・ 学校行事で着用する「クラスTシャツ」は、“スクールリーダーシップ(浜商 Pride: 母校愛とも言える)の向上になっていいと感じた。
- ・ 生徒会長の態度が立派であった。どの分野に進んでも素晴らしい女性リーダーになれると思った。
- ・ 全活動（ポスター紹介も含め）が生徒の主体的活動であることに感銘を受けた。
- ・ 3年生の合唱は、統一感が素晴らしいと感じた。また、1、2年生が真剣な表情で聞き入る姿もよかったです。学校全体の生徒指導の効果と感じた。
- ・ 動画は、教員を巻き込んだ創意工夫がよかったです。生徒と教員の良好な関係がうかがえた。
- ・ フラッシュ暗算の技能に驚嘆した。さすがは商業高校だと感じた。
- ・ 部展、HR展、商業展は各々テーマがあって、なるほどと感じさせる展示が多くあった。
- ・ 開会にあたって、教員によるアントレプレナーシップ、金銭教育の視点の再確認も有効であった。
- ・ 生徒中心で自主的、主体的な教育のるべき姿を見せてもらった。
- ・ 浜商における「外国にルーツを持つ生徒」の指導の在り方について知りたい。

## 6 閉会

すべての議題が終了し閉会となった。